

コミュニティ福祉学会第8回年次大会 総会資料

(2015 年 11 月 14 日)

空閑 厚樹 (2015 年度事務局長)

年間活動報告 (2014 年 11 月 9 日～2015 年 11 月 14 日)

～総会次第～

1. 運営委員長挨拶 2. 年間活動報告 3. 運営委員会体制と委員の承認
4. 学会誌『まなびあい』投稿規程改正について 5. 研究実践奨励賞授賞式 受賞のことは

I. 総論

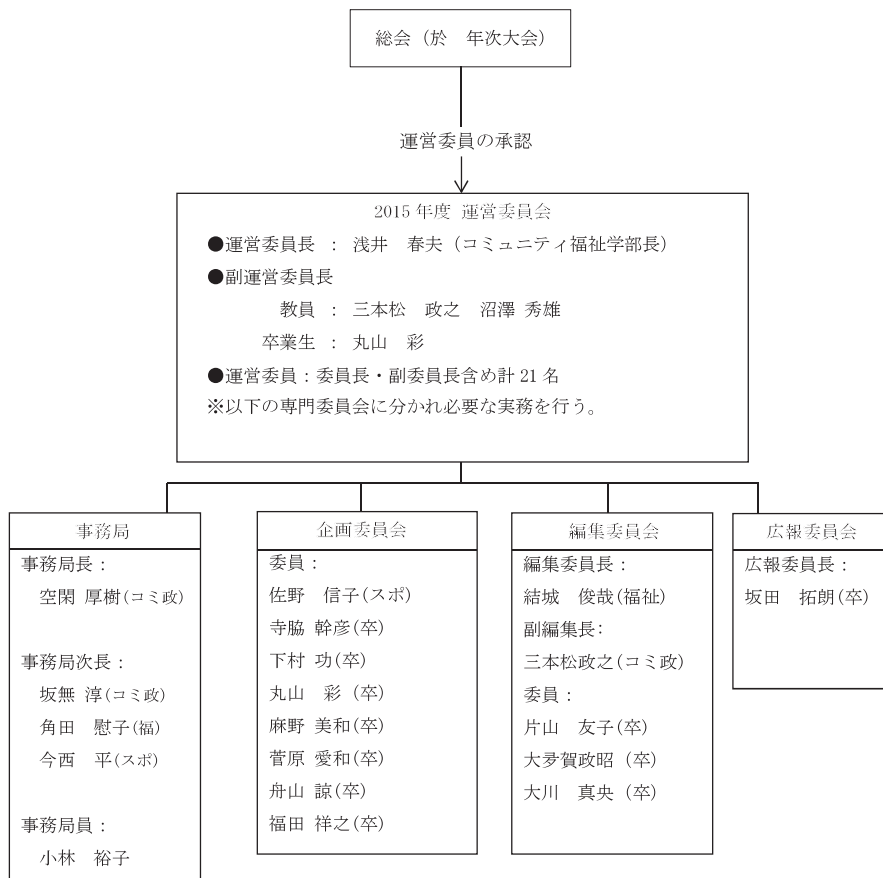
- ・会員数：2015 年 11 月 14 日現在、登録会員 471 名、学生会員 1,769 名、会員総数 2,240 名
- ・運営委員会：計 5 回（各回土曜日、於：池袋キャンパスまたは新座キャンパス、19 時～）平均出席数 15 名
- ・主な活動：第 8 回年次大会開催に向けた準備、学会誌『まなびあい』第 8 号の発行、研究実践奨励賞の選考

II. 活動報告

日 時	内 容
年次大会	
2014.11.9 第 7 回年次大会	大会テーマ「コミュニティ福祉と希望－私達はいかに希望をつなぎ、育めるのか－」 【講演とシンポジウム】コミュニティ福祉学部各学科の領域に関係の深い方を 1 名ずつ招いて、講演とシンポジウムを行った。 高橋 亜美氏 アフターケア相談所ゆずりは 所長 高橋 優子氏 小川町 生活工房つばさ・遊 理事長 千葉 祇暉氏 NPO バラエティクラブジャパン 代表理事 【分科会】8 件 とまなびあい座談会約 57 名（延べ 123 人）の参加。
運営委員会	
第 5 回 14.12.6	【議題】第 7 回年次大会の総括、2015 年度の運営委員会への申し送り事項について
第 6 回 15.2.28	【議題】今後のまなびあいについて、研究実践奨励賞選考方法の決定
第 1 回 15.5.23	【議題】2015 年度の運営委員会体制の確認、第 8 回年次大会の概要について 研究実践奨励賞選考委員会 【その他】第 1 回委員会より 2015 年度新委員により運営開始
第 2 回 15.7.4	【議題】第 8 回年次大会の大会テーマの確定・プログラムについて検討、講演会講師候補の選定、第 1 回研究実践奨励賞受賞作品の決定
第 3 回 15.10.3	【議題】第 8 回年次大会の詳細と役割分担の決定
編集委員会	
第 1・2・3 回 運営委員会時に開催	学会誌『まなびあい』発行に向け、本誌内容や募集要綱の検討、編集作業を行う。
学会誌 15.6.16	学生会員へ学会誌『まなびあい』第 8 号の原稿募集の案内
事務局	
機関誌 15.10.14	ニューズレター『まなびあい通信 Vol.7』を発行。会員に配信、発送する。

立教大学コミュニティ福祉学会

— 2015 年度運営委員会体制—



「まなびあい」投稿規程の改正について

コミュニティ福祉学会学会誌「まなびあい」について、下記の通り、投稿規程の改正を申請し、総会において承認されました。

記

○内容

「まなびあい」投稿規程 11 発行媒体に追記

<改正前>

製本雑誌を発行する。

<改正後>

製本雑誌を発行する。原則、オンライン上に掲載する。

立教大学コミュニティ福祉学会 第1回研究実践奨励賞

森開 こゆきさん（コミュニティ政策学科2014年卒業）

『大学が少子化問題を解決する』（『まなびあい』7号所収 論文）

長谷 直樹さん（スポーツウエルネス学専攻博士課程前期課程、

青年海外協力隊平成25年度3次隊ブータン王国、体育）

『ブータン王国における保健体育 ～青年海外協力隊活動を通じて～』

（『まなびあい』7号所収 卒業生の活動報告）

森開こゆきさんが研究実践奨励賞授賞式にご出席し、受賞のスピーチをしていただきました。

長谷直樹さんはブータンに赴任中のため、後日授賞式を行いました。